

令和5年7月発行

東灘区サポセン通信 第7号

発行 東灘区医療介護サポートセンター

住所：〒658-0054 神戸市東灘区御影中町4丁目1-8 東灘区医師会館内3階

TEL: 078-822-0171 FAX: 078-822-0172 担当：青山、飯野



梅雨が明けて毎日暑い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。東灘区医療介護サポートセンターは、6月より新しいコーディネーターを迎えてスタートしております。これからも、東灘区の医療・介護・福祉関係者の皆様へ役に立つ情報をお届けしてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

東灘区医療介護サポートセンターメンバー紹介

コーディネーター

青山 弘美

飯野 留美子



医師会副会長

医師会理事

医師会理事

サポートセンター長

児島 隆介

谷尻 力

青山 正人

ごあいさつ

6月より、兵庫区医療介護サポートセンターから異動して参りました青山弘美です。東灘区はプライベートではよく訪れる街ですが、仕事ではほぼ初めましての街で知らないことばかりのため、まずは自分自身が顔の見える関係作りから行っていかなければと思っております。温かく長い目で見守って頂けましたら幸いです。何卒よろしくお願いいたします。



各団体活動報告

神戸市(東灘区)ケアマネジャー連絡会

代表 伊賀 浩樹

神戸市ケアマネジャー連絡会は、介護保険制度が2000年に施行され介護支援専門員という職種が生まれた1年後に介護支援専門員の職能団体として創立され、現在23年目を迎えています。その際に掲げた目標は「神戸市、関係機関、地域団体との多職種協働を基盤とし、職能団体としての組織強化と運営の発展を目指し、会員支援と地域社会(市民)の介護保険ニーズに貢献する事業を展開する。」と変わっていません。そして現在に至るまで、要援護高齢者及び介護しているご家族の暮らしを支え、安心して介護サービスが利用できるために、多職種連携チームを作りつづけています。

東灘区の花は「梅」ですが、梅の実は様々な手入れをすることによって、日々熟成され、梅干し、梅酒、梅ジュース、梅ジャム・・・と盛夏に欠かせない食材に変わりますが、会員の皆様も要援護高齢者やご家族の暮らしが日々続く中で、その人らしい熟成された人生を最後まで暮らすことができるよう、ケアマネジメント支援にこころがけていますので、関係者の皆様におかれましては、引き続きご指導・ご協力をお願い申し上げます。

<多職種連携について思うこと> 神戸市ケアマネジャー連絡会 副代表 富田 洋介

私がまだ小学生だった頃、先生が教室で「相手の気持ちになって」とか「相手の立場にたって」と話をしてくれました。その単純で奥深い言葉は、その後の私が物事を決める時の1つの指標になってきました。そして、ケアマネジャーとして働いている今も思い悩む場面に差し当たるとふとその言葉が脳裏をよぎります。一方で専門職としてそれだけでは十分と言えないと感じる場面も多く経験してきました。

また、社会も私が小学生の頃に比べると多様な暮らしが進んでいます。このことはとても素晴らしい一方で、私たちはその変化の中で生じるこれまで経験したことのない暮らしの上での課題に遭遇します。変化していく多様な社会で暮らすことは今まで以上に何らかの関わりが必要な人が増えているのではないのでしょうか。このような社会の変化は介護支援専門員といった新たな資格を生み出す要因になりました。社会の変化は現在も進行しています。例えば、令和3年6月に神戸市に設置された神戸市福祉局 相談支援課 ども・若者ケアラー相談・支援窓口は若者が介護を理由に学びや遊びや就労の機会侵害されている実態調査を受けて、新たな連携先として生まれました。このようにさまざまな連携先が今後も生まれてきます。

連携する中で大事なことは相手の立場やできることの範囲や得意技を知ることではないでしょうか。

ちなみケアマネジャーの得意技の一つに利用者様と歩調を合わせて考え行動を促すといった技があります。この技をぜひ、先生をはじめとする関係機関の方にご理解いただけると幸いです。

今後とも皆様よろしくお願いいたします。

★次回は、「あんしんすこやかセンター」にバトンタッチです。



研修会報告



1. 2023年度 第1回 東灘区在宅医療・介護連携推進協議会

2023年6月14日(水) 14:00~15:30 東灘区医師会館3階ホール (参加者25名)

「東灘区在宅医療・介護推進協議会」は、在宅医療を推進するための課題の抽出及び解決策の検討、医療と介護の多職種連携を効果的に促進するための検討などの活動を行っています。

区内23団体 29名の委員で構成され、年2回開催しています。

①2022年度 東灘区医療介護サポートセンター事業報告

1) 相談業務

相談件数：181件

相談内容(複数回答)：訪問診療・往診医の情報提供が全体の30%(前年度より13%up)

2) 多かった相談内容

i) がん患者への訪問診療医の紹介

ii) 透析：通院時に送迎のある医療機関もあるが、利用は厳しい状況にあると聞いている。

通院が困難になった透析患者が入所できる施設も少ない。

➡今年度、透析患者の在宅療養をどのように支えていくのか、研修会を予定。

iii) 摂食嚥下：東灘区医師会では、「東灘区在宅NST推進研究会」を進めており、少しずつ食に対する意識が高まってきていると感じている。

②2023年度 東灘区医療介護サポートセンター事業目標

「より強いネットワークにするために多職種連携の輪をつなげる

～更なる医療介護連携に向けて考える～」

2. 令和5年度 医療介護連携を学ぶ研修会

共催：東灘区あんしんすこやかセンター、東灘区役所
「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について学ぼう」
～ その人らしさを大切にするために専門職ができること ～
7月6日(木)13:30～15:30 東灘区役所 4階大会議室（参加者 72名）

<プログラム>

1. 「大事なことから、みんなと話したい 私のこれから」について
神戸市健康局地域医療課 課長 米谷 久美子氏
2. 「私のこれから(価値観シート)」記入
3. 講演：「ACPについて学ぼう」
講師：田中医院 院長 田中 良樹先生
4. グループワーク、質疑応答

先生の講義から

- ・「人間ドック」と「人生ドック」（備えあれば憂いなし）：年1回受ける。
- ・どんな医療・介護を受けたいのか、受けたくないのか。「要望」だけでなく「拒否」もできる。
- ・「思い」は、加齢と共に変化する。気力、体力、知力、代理人も変化する。家族でお金のこと、お墓のことなどきちんと話し、文書化しておくことが非常に大切

グループワークでの意見・感想（一部）

- ・中学生や高校生の若い世代への教育が必要だと思う。
- ・「死生観」について、家族と話したこともないので聞いてみようと思った。
- ・ACPは自分事として考える。元気なうちに話っておかなければいけないと思った。



情報提供



★「人生の最終段階における意思決定支援」



厚生労働省では、人生の最終段階に向けた医療・ケアについて、患者・家族と医療従事者等があらかじめ繰り返し話し合う自発的なプロセスである「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」を重視し、愛称を「人生会議」と定め、普及・啓発を実施しています。

このパンフレットでは、話し合いの手順や、自身が大切にしていることを考えるシートを掲載しています。まずは、このパンフレットを使って「人生会議」をはじめてみませんか。

[ホーム](#) > [健康・医療](#) > [医療提供体制](#)・[医療介護連携](#) > [人生の最終段階における意思決定支援](#)

★「神戸市版 医療介護情報引継ぎシート」

転院を繰り返した後に在宅復帰するまでの、医療・介護サービスを切れ目なく円滑に提供するため、神戸市版「医療介護情報引継ぎシート」を作成しています。

活用方法については、「神戸市医療介護情報引継ぎガイドライン」にまとめておりますので連携のひとつのツールとしてご活用ください。

[ホーム](#) > [健康・医療](#) > [医療提供体制・医療介護連携](#) > [医療介護連携](#) > [神戸市医療情報引継ぎガイドライン（様式）](#)






★「東灘区食支援サマリー」が新しく生まれ変わりました

2023.4月

東灘区食支援サマリーが新しく生まれ変わりました

簡単！便利！

5 つ の 特 徴

- Point 1  作成時間の短縮
- Point 2  記載項目の明確化
- Point 3  表現の統一化
- Point 4  対象者の限定なし
- Point 5  誰でもどこでも作成可能

地域を問わず食の情報提供に使用できるようになりました

食支援ツールのダウンロードや研修会のお知らせはホームページから

東灘区在宅NST推進研究会

HP YouTube



神戸市東灘区医師会
東灘区在宅NST推進研究会うめプロジェクト

新サマリー「食に関する情報提供書」

【PC入力バージョン】

【手書きバージョン】

選択肢を選ぶだけ！
統一言語で情報伝達

冊子の準備不要！
KTBCの評価基準を表示

項目	評価基準
食の提供	...
食事の提供	...
...	...

- 白黒印刷対応可能でずAXでも見やすくなりました。
- HPに記載例を多数掲載していますので、ご参考ください。
- 他区への情報発信にも使用できます。
- 食支援サマリーの研修会を随時開催予定です。



「東灘区医療介護サポートセンター」は、医療・介護・福祉職など専門職の方の相談窓口です。東灘区民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、より良い医療と介護の連携のためにお困りごとの解決に向けて、一緒にお手伝いさせていただきます。いつでも気軽にお電話下さいね！



神戸市各区のサポートセンターの活動、研修会の案内や報告など
ホームページで紹介しています
ホームページアドレス <https://kobe-iks.net/>